

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【公表番号】特表2018-504411(P2018-504411A)

【公表日】平成30年2月15日(2018.2.15)

【年通号数】公開・登録公報2018-006

【出願番号】特願2017-538575(P2017-538575)

【国際特許分類】

C 07 D 495/18	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
A 61 P 27/16	(2006.01)
A 61 P 13/12	(2006.01)
A 61 K 31/46	(2006.01)
A 61 K 45/00	(2006.01)
A 61 K 31/7036	(2006.01)
A 61 K 33/24	(2019.01)
A 61 P 35/00	(2006.01)
A 61 P 31/04	(2006.01)
A 61 K 31/282	(2006.01)

【F I】

C 07 D 495/18	C S P
A 61 P 43/00	1 0 5
A 61 P 27/16	
A 61 P 13/12	
A 61 K 31/46	
A 61 K 45/00	
A 61 K 31/7036	
A 61 K 33/24	
A 61 P 35/00	
A 61 P 31/04	
A 61 P 43/00	1 2 1
A 61 K 31/282	

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月28日(2019.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

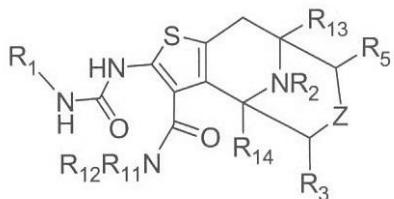
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)の構造を有する化合物、または、その薬学的に許容可能な塩、薬学的に許容可能な溶媒和物あるいは水和物、薬学的に許容可能な塩水和物、あるいは薬学的に許容可能なプロドラッグであって、

【化1】



式(I)

式中、

Zは単結合、二重結合、-CH₂-、または-O-であり、

R₁はアリールまたはヘテロアリールであり、ここで、アリールとヘテロアリールは1つ以上のR₄で随意に置換され、

R₂は、H、C₁-C₆アルキル、C₁-C₆アルキル-O R₆、C₁-C₆アルキル-C₃-C₆シクロアルキル、C₁-C₆アルキル-C₂-C₇ヘテロシクロアルキル、C₁-C₆アルキル-CO₂R₆、随意に置換されたC₁-C₆アルキルアリール、または随意に置換されたC₁-C₆アルキルヘテロアリールであり、

R₃とR₅は各々独立して、HまたはC₁-C₆アルキルであり、

あるいは、R₃とR₅はともに、随意に置換されたC₃-C₆シクロアルキル環、随意に置換されたC₂-C₇ヘテロシクロアルキル環、随意に置換されたアリール環、または随意に置換されたヘテロアリール環を形成し、

R₄はそれぞれ、F、Cl、Br、I、-CN、-NO₂、-CF₃、-OR₉、-OCF₃、-NR₈R₉、-C(O)R₁₀、-CO₂R₉、-C(O)NR₈R₉、-N(R₈)C(O)R₁₀、-N(R₈)CO₂R₁₀、-NH₂R₁₀、-S(O)₂NR₈R₉、C₁-C₆アルキル、C₃-C₆シクロアルキル、C₁-C₆ヘテロアルキル、C₁-C₆ハロアルキル、C₂-C₇ヘテロシクロアルキル、アリール、およびヘテロアリールから独立して選択され、

R₆はHまたはC₁-C₆アルキルであり、

R₈はHまたはC₁-C₆アルキルであり、

R₉は、H、C₁-C₆アルキル、C₃-C₆シクロアルキル、C₂-C₇ヘテロシクロアルキル、アリール、ヘテロアリール、C₁-C₆アルキルアリール、またはC₁-C₆アルキルヘテロアリールであり、

R₁₀は、C₁-C₆アルキル、C₃-C₆シクロアルキル、C₂-C₇ヘテロシクロアルキル、アリール、ヘテロアリール、C₁-C₆アルキルアリール、またはC₁-C₆アルキルヘテロアリールであり、

R₁₁は、H、C₁-C₆アルキル、C₁-C₆ハロアルキル、C₃-C₆シクロアルキル、C₂-C₇ヘテロシクロアルキル、アリール、ヘテロアリール、C₁-C₆アルキルC₃-C₆シクロアルキル、C₁-C₆アルキルアリール、またはC₁-C₆アルキルヘテロアリールであり、

R₁₂は、H、C₁-C₆アルキル、C₁-C₆ハロアルキル、C₃-C₆シクロアルキル、C₂-C₇ヘテロシクロアルキル、アリール、ヘテロアリール、C₁-C₆アルキルC₃-C₆シクロアルキル、C₁-C₆アルキルアリール、またはC₁-C₆アルキルヘテロアリールであり、

あるいは、R₁₁とR₁₂はそれらが結合している窒素と一体となって、随意に置換されたC₂-C₇ヘテロシクロアルキル環を形成し、および、

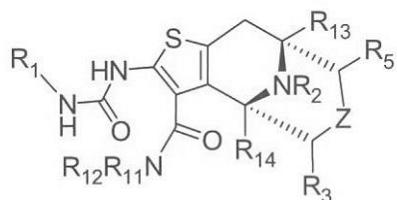
R₁₃とR₁₄は各々独立して、HまたはC₁-C₆アルキルである、化合物、または、その薬学的に許容可能な塩、薬学的に許容可能な溶媒和物あるいは水和物、薬学的に許容可能な塩水和物、あるいは薬学的に許容可能なプロドラッグ。

【請求項2】

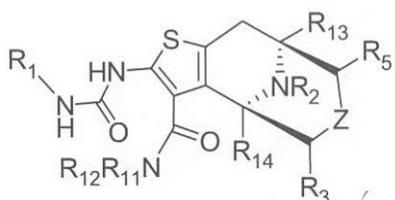
式(Ia)または式(Ib)の構造を有する、請求項1に記載の化合物、またはその薬

学的に許容可能な塩、薬学的に許容可能な溶媒和物あるいは水和物、薬学的に許容可能な塩水和物、あるいは薬学的に許容可能なプロドラッグ。

【化2】



式(Ia)



式(Ib)

【請求項3】

R₁は1つ以上のR₄で随意に置換されたフェニルである、請求項1または2に記載の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩、薬学的に許容可能な溶媒和物あるいは水和物、薬学的に許容可能な塩水和物、あるいは薬学的に許容可能なプロドラッグ。

【請求項4】

R₁は1つのR₄で置換されたフェニルであり、R₄はそれぞれ独立して、F、Cl、Br、I、-CN、-CF₃、-OR₉、-OCF₃、-C(O)R₁₀、-CO₂R₉、およびC₁-C₆アルキルから選択される、請求項3に記載の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩、薬学的に許容可能な溶媒和物あるいは水和物、薬学的に許容可能な塩水和物、あるいは薬学的に許容可能なプロドラッグ。

【請求項5】

R₁は4-クロロフェニルである、請求項4に記載の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩、薬学的に許容可能な溶媒和物あるいは水和物、薬学的に許容可能な塩水和物、あるいは薬学的に許容可能なプロドラッグ。

【請求項6】

R₁₁とR₁₂はそれぞれHである、請求項3に記載の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩、薬学的に許容可能な溶媒和物あるいは水和物、薬学的に許容可能な塩水和物、あるいは薬学的に許容可能なプロドラッグ。

【請求項7】

R₂はHである、請求項3に記載の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩、薬学的に許容可能な溶媒和物あるいは水和物、薬学的に許容可能な塩水和物、あるいは薬学的に許容可能なプロドラッグ。

【請求項8】

R₂は-CH₃である、請求項3に記載の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩、薬学的に許容可能な溶媒和物あるいは水和物、薬学的に許容可能な塩水和物、あるいは薬学的に許容可能なプロドラッグ。

【請求項9】

R₃、R₅、R₁₃、およびR₁₄はそれぞれHである、請求項3に記載の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩、薬学的に許容可能な溶媒和物あるいは水和物、薬学的に許容可能な塩水和物、あるいは薬学的に許容可能なプロドラッグ。

【請求項10】

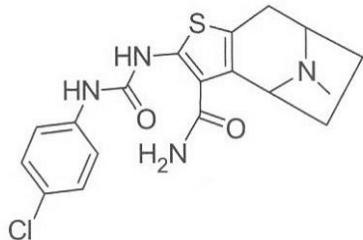
Zは単結合である、請求項3に記載の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩、薬学

的に許容可能な溶媒和物あるいは水和物、薬学的に許容可能な塩水和物、あるいは薬学的に許容可能なプロドラッグ。

【請求項 1 1】

以下の構造を有する、請求項 1 に記載の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩、薬学的に許容可能な溶媒和物あるいは水和物、薬学的に許容可能な塩水和物、あるいは薬学的に許容可能なプロドラッグ。

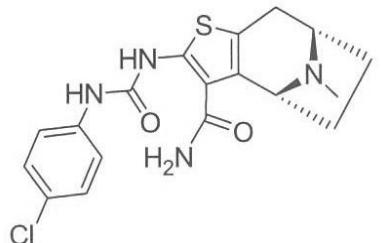
【化 3】



【請求項 1 2】

以下の構造を有する、請求項 1 に記載の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩、薬学的に許容可能な溶媒和物あるいは水和物、薬学的に許容可能な塩水和物、あるいは薬学的に許容可能なプロドラッグ。

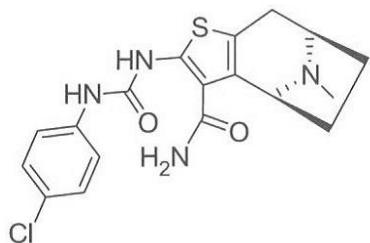
【化 4】



【請求項 1 3】

以下の構造を有する、請求項 1 に記載の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩、薬学的に許容可能な溶媒和物あるいは水和物、薬学的に許容可能な塩水和物、あるいは薬学的に許容可能なプロドラッグ。

【化 5】



【請求項 1 4】

治療上有効な量の請求項 1 - 1 3 のいずれか 1 つの化合物、あるいはその薬学的に許容可能な塩、薬学的に許容可能な溶媒和物または水和物、薬学的に許容可能な塩水和物あるいは薬学的に許容可能なプロドラッグ、および薬学的に許容可能な賦形剤を含む医薬組成物。

【請求項 1 5】

アミノグリコシド系抗生物質を受け取る個体の腎臓障害の予防、聴力損失の予防または処置、あるいは感覚有毛細胞の死の予防または処置に使用するための、請求項 1 - 1 3 のいずれか 1 つの化合物、あるいはその薬学的に許容可能な塩、薬学的に許容可能な溶媒和物または水和物、薬学的に許容可能な塩水和物または薬学的に許容可能なプロドラッグ。